

取手グリーンスポーツセンター第1体育室床補強工事について

【経過報告】

平成 28年度	「第1・第2体育室床改修工事設計業務委託」を行う。 概要・・・既存の体育室と同等の強度とすることとし、利用者の身体への負担軽減や施工後の維持管理を考慮し、フローリング材による床材から、スポーツ長尺シートに変更した。
平成 29年度	「第1・第2体育室床改修工事」を行う。 概要・・・設計に基づき、改修工事を行う。 可動式観客席及び移動式バスケットボール用ゴールの設置カ所に補強を施した。
令和 元年度	「バスケットボール用ゴール入替」を行う。(令和元年9月納入) 概要・・・経年劣化に伴うゴールの傾きや衝突保護材の劣化により、利用者の安全面から新規ゴールに入替を行う。 比較・・・質量900kg→1,200kg、 令和2年2月に指定管理者より、ゴール保管場所前面の床にたわみが見られるとの報告があり、担当課が現地確認を行う。
令和 2年度	当施設の新型コロナウイルス感染症による閉館時期を過ぎ、使用再開後、しばらくして歪み部分の拡大が確認された。

【原因について】

床の改修については、当時は新規ゴールの詳細が未定であったため、既存の体育室の強度と同等とする内容で進められた。

これに対し、新規ゴールは、従前のゴールよりも質量で約300kg増えたことや、キャスターの配置から荷重が大変狭い範囲に集中してしまうこととなり、床にたわみが生じたものと考えられる。

【現在の対応】

ゴールの移動については、以前から利用者の安全確保のため指定管理者が行っており、歪み拡大の確認後はコンパネによる養生をしたうえでを行っている。

影響範囲の拡大を防ぐために早期に対応する必要があり、補強工事を行うにあたり、12月補正において実施設計を行い、令和3年度6月補正により工事費の計上を予定している。

